



◇B型施設への移行

◇記事内容

農業班：天気にも左右され困惑！
豊科店：ありがとう！3周年！！
有明店：副店長誕生！
外販部：夏から秋へ
DTP班：みんなで奮闘

◇コラム：支援員としての想い

夢トライ通信 9月号

発行日：2015年8月8日
発行：NPO法人 夢トライ
所在地：〒390-0805
松本市清水2-11-45
電話：0263-35-3530
FAX：0263-35-3547
メール：npo@yumetry.com
URL：http://yumetry.com/npo

B型施設への移行について

田中宏治

夢トライ工房が平成28年1月1日より就労継続支援B型に移行することが9月12日に...
減りました。現在、給与の支払いにおいては有明のパン屋...
あります。

ついでに国から訓練等給付費の補助金が支給されています。
23名中で就労時間が週20時間以上は5名となっており...
訓練等給付費が減額される可能性があり、運営が増々厳しくなる可能性があります。

移行まで半年もありませんが、それまでに工房のスタッフに対し、個別面談を行い、移行時の不安を和らげるとともに、今後の目標を聞きだし、移行後、工房（もしくは他の施設）でどのように仕事をしたいか話し合っています。

財政面では、本年4月から有明のパン屋さんと分離した結果、工房の収益だけでは工房スタッフの給与を支払えない状況が続いています。
数年前までは、工房だけで支払っていたのですが、リーマンショックによる印刷

多機能への移行は困難であるとの結論に達しました。
B型になるにあたって工房がB型になっても作業内容は、現在と同じでDTP、農業、ポスティングの作業を行っていきます。

「夢トライはA型とB型の2つの施設を持っている」という強みを活かして、より良い就労支援が行えるよう、スタッフはもちろんのこと、親御さんや職員が一丸となって環境を築いていきたいです。

障がい者就労継続支援事業
⇒一般企業に雇用されること
が困難な障害者を提供し、
生産活動にかかる能力向上
を目指す事業です。
⇒雇用規約を結び給料を
もらいながら利用する
「A型」と、通所して
授産的な活動を行いながら
利用する「B型」の二種類が
あります。

就労継続支援 B型
障害者は就労の機会を得てA型・一般就労を目指す。
利用者には授産施設平均工賃
月平均14,190円
※全国平均(平成24年度)

就労継続支援 A型
障害者は雇用契約に基づきながら一般就労を目指す。
利用者には最低賃金以上
月平均68,691円
※全国平均(平成24年度)

移行する理由としては、工房の財政的な運営難と就労時間の問題があり、A型のままでの運営事態が困難であるためです。
移行するに至った経緯
移行する理由としては、工房の財政的な運営難と就労時間の問題があり、A型のままでの運営事態が困難であるためです。

A型を維持する1つの解決案として平成26年度計画に「工房の多機能型への移行準備」がありました。
A型では雇用契約のため、週20時間以上の労働時間が必要でしたが、B型になった場合、時間の拘束はなく、週1日以上、1日1時間以上で作業をして頂ければ問題ありませんし、給与にはなりません。
日常生計の訓練や就労のための勉強時間にもなります。

B型に移行するにあたって、B型は「給料が安い」というイメージが一般的かと思いますが、雇用契約に縛られないため良い部分もあります。

10月の予定 □は休み

工房・有明

豊科

Calendar for 10 months (工房・有明)

Calendar for 10 months (豊科)

定例会議事録より



看板 催物会場一式請負

横断幕・垂れ幕・看板～ポスター・チラシ・チケット作成等
夢トライ工房 〒390-0805 長野県松本市清水 2-11-45 電話 0263-35-3530 FAX 0263-35-3547
E-mail: yumetry@yacht.ocn.ne.jp

長野県看護研究会	長野県民松本文化会館	日本A D / H D 学会総会	東京大学鉄門記念講堂
日本看護研究学会	松本市民芸術館	S S T 普及協会学術集会	群馬県民会館
SST 経験交流ワークショップ	一橋大学兼松講堂	松本市高齢者健康大会	松本市民芸術館
APASLSingle Topic Conference	幕張メッセ国際会議場	日本総合病院精神医学会総会	都市センターホテル (東京)
NASH 2010	グランドプリンスホテル高輪	日本精神病理・精神療学会	津田塾大学津田ホール
日本総合病院精神医学会総会	栃木県総合文化センター	日本女性骨盤底医学会学術集会	大宮ソニックシティホール

主な会場一式請負実績

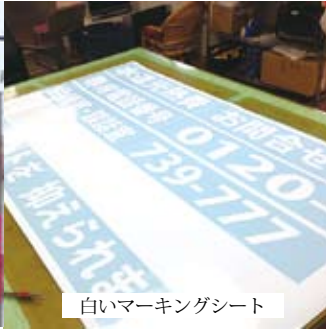
D T P

今月の様子

8月にはテッド・インターナショナルさんから大きな仕事を2件頂きました。一つは盆休み前の短い期間に製作したテナント宣伝用のウィンドウマーキングです。本来ならば直接窓ガラスにカットイングシートを貼るのですが、テナントが決まった時に取り外しやすく出来るように、アクリルパネルにはり、それを窓の内側から掲示する方法で作成しました。窓ガラスから目立つように白いシートで高さ約150センチのパネル4枚に貼り付けました。



設置された看板 (駅前)



白いマーキングシート

もう一つは以前入力した2700件分の郵便番号や住所、氏名を入力し印刷した宛名の内、宛先不明で届かなかった約1000件分のデータをより分け、届いたデータと分ける作業です。届かなかった封筒から元データにある郵便番号、住所、氏名のセットを抜き出し別の場所へ移す作業です。5・6名で手分けして、封筒の山と一週間格闘しました。



表面を新しく貼りかえた看板

また、県庁の健康福祉部より、9月13日(日)に行われる障がい者スポーツ大会で会場案内に使う看板を作り変える為、看板8台の表面を塩ビステッカーで貼りかえるという仕事も請け負いました。



封筒の宛名のチェック作業

看板の鉄板を外し、印刷した塩ビステッカー約55センチ×140センチを鉄板に貼り、再度看板台に取り付ける作業を行いました。8台もあつたので、一連の作業は3日かかりました。

9月は松本ポステイングからの仕事も増えました。清水2丁目、1丁目のポステイングの他に、チラシ2つ折りの仕事が大量にありました。1万5千枚、1万8千枚、1万枚と、3回依頼され、幸い9月は雨の日が多く、農作業の人手を借りることが出来たのが大きく、勿論DTP班も総出で折りの作業を行いました。1週間納期のところを2〜3日で終わることができました。

その合間にポステイングの仕事が入り、雨の上がる日を見極めてポステイングを行いました。雨の日が多く、こちらの方が意外と難しい印象でした。



チラシ折込の作業

ふれあい農園

天気に四苦八苦の農業班

今年ほど天気に四苦八苦した農作業はありません。GWまでは毎日雨、雨、雨、「晴れてもらわないとね〜」が畑の仲間との挨拶がわり。GW過ぎてからは「雨がこないね〜」が挨拶代わり。漸く晴れの日が続いたと思ったら、今度はお盆過ぎからは、又、雨、雨、雨、「大根畝立てが出来ないね〜」と挨拶ばかりでした。

今年から手掛けた果樹園でのブドウ、梨栽培もブドウや梨の実が充実する頃に雨が全く降らずに良いブドウ、梨が収穫できず販売も期待していた様には振るいませんでした。専門のブドウ農家では毎日のように散水して苦戦していたようです。来年こそは！と思うのですが今年のように極端に雨が降らないようではどうしようもありません。ブドウや梨の剪定は、今年の年末から年明け2月位に行うそうです。

ただ、この異常なほどの天候でしたが、畑の農作物にとっては大変大きな成果が得られました。

まず、昨年までのなす、トマト、ピーマン、オクラの失敗から「何が原因だったのか」を皆で話し合い、悩み、今年は苗の植え付けから色々と試した事が成功し、なす、トマト、ピーマン、オクラはお盆過ぎまで樹勢が落ちずに大収穫となりました。

その一番大きな改善策は、「水を与えない」ということです。昨年までは、苗を植え付けてから活着するまで毎朝散水していましたが、今年は、苗を植え付けした時にたっぷりと水を与え蒸発しないように、又、保温を兼ねて藁をかぶもとに敷きました。植え付け以降は、水遣りはまったくせず、あの雨が全く降らない時期を「じつと我慢」して栽培したところ、樹勢は良くなり実付も良く大収穫となりました。昨年までは、「水を遣りすぎていて根の発育が十分できなかったため良い木にならなかった」という議論が当たり、「水を与えない事で苗を地中深く、広く張らせる」こととなり、それが結果として今年の栽培の成功に繋がったのだと思います。

試行錯誤をする事は、色々な面で勉強にもなり、無駄なことはないですね。

有明のパン屋さん

本 店 〒 399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高 2216-1
 コープ豊科店 電話 0263-88-3307 F A X 0263-88-3318
 〒 399-8205 長野県安曇野市豊科 2637-4
 電話 0263-88-7328



(塩パン)

前回の塩パンからリニューアルして登場しました。生地もフランス粉と強力粉で作られており、表面はカリカリ、中は弾力があります。そして、普通のお店では売られていない、秘伝の塩が使われています。

(おなすパン)

調理パン生地にナスを「ドンッ」とのせ、豚みそマヨネーズがぬられています。ナスと豚みそマヨネーズが絶妙のバランスです。

	安曇野地域	松本地域
月	安曇野市役所 11:45~	寿台養護学校 11:30~
	安曇野赤十字病院 10:50~	医療福祉専門学校 12:10~
火	大町合同庁舎 11:30~	松本市総合社会福祉センター 11:30~
	豊科病院 11:45~	看護協会 11:30~
水	穂高社会福祉協議会 11:30~	ビジネスカレッジ 12:20~
	大町市役所 11:50~	
木	穂高総合支所 11:50~	松本市社会福祉北部センター 11:30~
	安曇野庁舎 11:50~	松本市役所東庁舎1階ホール 11:30~
金	安曇野赤十字病院 11:10~	松南病院 11:30~
	大町合庁 11:30~	寿台養護学校 11:30~



塩パン



おなすパン

※上記は、主要な外部販売先です。イベント等にも出店することが出来ますので、お気軽にお電話ください。
 連絡先：電話：0263-88-3307 担当：丸山

豊科店

残暑もようやく和らぎましたが、皆様どうお過ごしでしょうか。

さて、有明のパン屋さんコープ豊科店では、9月に大きなイベントを行います。

その大きなイベントとはズバリ…。有明のパン屋さんコープ豊科店開店3周年イベントです!! 題して「祝・有明のパン屋さんコープ豊科店開店3周年 秋の味覚フェア」(今、勝手に決めた(笑))です。3周年イベントは9月19日、20日の予定となっております。実際に秋が旬の食材を使い、試作のパンを今作っているところですよ。イベント当日には、コープ豊科店に新作のパンが店頭にならび、食欲の秋にふさわしいパンが来店された皆様をお迎えしてくれることでしょうか。その他にも、人気の商品から定番の品まで、3周年の感謝の思いを込めたパンを職員、スタッフ一丸となつて用意しています。

最後に、こうして3周年を迎えることができたのは、日頃からの皆様のご支援によるものです。本当にありがとうございます。3周年にふさわ

有明店

しいイベントにしたいと思っていますので、これからも有明のパン屋さんコープ豊科店をよろしくお願いいたします。イベントをガンバルぞ!



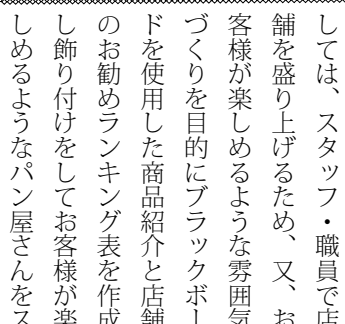
ポップで楽しく

夏の暑さも軽減され気温が下がり肌寒くなりました。9月に入れば食欲の秋。秋に収穫される様々な食材が回る時期となりました。又、季節の変わり目に伴い、気温も一日の中でも温度差があり体調を崩しやすいと思われま

す。留意をお願いする次第です。有明本店の様子としては、スタッフの方一名が8月末から大町市役所へ雇用されました。減多に無いチャンスで非常に喜ばしいことです。これからも、有明のパン屋さんで働いた経験を生かして頑張ってください。又、豊科店から有明店へ若手

外販部

職員が島津さんが副店長として着任されました。職員層も厚くなり職業指導・福祉面でも活躍されております。



工夫を凝らす店内

さて、パン屋さんの様子としては、スタッフ・職員で店舗を盛り上げるため、又、お客様が楽しめるような雰囲気づくりを目的にブラックボードを使用した商品紹介と店舗のお勧めランキング表を作成し飾り付けをしてお客様が楽しめるようなパン屋さんをスタッフ職員一丸となつて取り組んでおります。

朝夕には多少の冷気を感じる頃となりました。松本外販部では、夏休み期間中だった学校も夏休みが終わり、販売がスタートしました。夏休み明けのパン販売初日、パン販売を心待ちにしていたお客様がたくさんいてくださ

秋を感じる風景

り、販売スタッフ一同、とても嬉しい気持ちになりました。



秋を感じる風景

また販売に向う途中に見える、田んぼの景色が夏の景色から秋へ近づき、変化していく様子を見ながら夏の終わりを感しました。夏の暑さから秋の涼しさに変化していることから、パンを買いに来られるお客様が増えてきました。秋の販売に向けて、夏仕様だったテーブルクロスから秋のテーブルクロスに変えるため、販売メンバーでシール作りをしています。秋の新作パンも多くなってきましたので、夏とはまた違ったパン販売ができるよう外販メンバー一同、頑張っていきたいと思

グループホーム

BEING ビーイング



木崎湖巡りの旅

貴方の時計はどのように時を刻んでいますか？
そして、貴方はどのように時を刻みたいのですか？
ひとり一人の速さで、ひとり一人の秒針の長さで時を刻める場所、それがBeイングです。
私たちBeイングができること、それは何らかの障害をもっているとしても時代の中で、社会の中で、街の中で自分らしい生活をいとなむことのできる場所と、その鍵をお渡しすることです。

毎日、暑い日が続き水分補給が欠かせない日々ですね。さて、Beイングのお盆休みはというと、入居されている方のほとんどが家に帰ってしまったため、Beイングで過ごしているNさんや、Oさんは伊藤理事長や、花村さんと一緒にお盆中、出掛けていたようです。15日は、花村さんと「松本アルプス公園」に遊びに行き、ポニー、フクロウ、鷹などを見てきたようです。また、美味しいかき氷も食べたようです。花村さん、ありがとうございます。16日は、伊藤理事長が涼しさを感じられる所へ連れて行ってくれました。その場所とは「木崎湖」と「大町ダム」に行き、涼しさを満喫してきましたようです。木崎湖では泳いだりして夏を感じたようです。「大町ダム」では、二人ともダムの大きさに驚いたみたいです。大町から松本に帰ってくる道中で「すき家」で牛丼を美味しく食べてきたようです。Nさんも、Oさんもお盆休みを有意義に過ごす事ができたようです。伊藤理事長、花村さんありがとうございます。もうひとつ、話題があります。それは入居者のOさんがお盆休みに地元の「成人式」に出席し、大人の仲間入りをしました。

コラム

今回コラムを担当する事になりました花村です。理事長の様に上手な文章ではありませんが最後までお付き合い下さい。せっかくの今回のチャンスに、私が今まで支援員として感じてきた想いを書かせて頂ければと思います。

私は福祉大学を卒業し、福祉施設の支援員として10年になりました。大学を卒業する際は「障害をもった方々を受け入れない社会を変えなければ!! 障害を持った方々が安心して活躍できる社会にしよう!!」と大きな夢と情熱をもって就職しました。社会人一年目の頃は、利用者さんに笑顔で挨拶してもらい嬉しく思ったり、少しずつ一緒に仕事が出来ると楽しくなったり。利用者さんの小さな変化や成長が、支援員としてのやりがいになりました。しかし私たちの仕事は、そこで終わってはいけません。

「挨拶が出来た良かった。」と思いつつも、社会に受け入れられる様、嫌がられる事を覚悟しながら厳しい事を、一般常識を伝えて行く事が多いのです。福祉施設の現状

にシヨックを受ける事もありました。それでも仕事です。書類作りや売り上げ管理など運営に関わる事も考えなければなりません。利用者さんが出来なければ、納期までに職員が残業してでも仕上げる事もあります。私たちは誰のため、何のために仕事をしているのか。何の仕事をしているのか見失い、辞めていく仲間もいました。情熱を持って、想いを持って就職しても、日々の仕事に追われ大切な事を見失ってしまうのです。

最近、気がきました。私たち支援員が働く事を学び、奮闘する姿こそが職業指導、生活支援なのではないか。日々、利用者さんと共に仕事をやる中で、自立を目指す見本、目標として、私たちが身をもって示して行く必要があるのではいかと。職員もスタッフも全員で、自分たちが今まで行ってきた就業の姿を振り返り、新たな課題や目標を考え、良い機会だと私は感じています。その課題や目標に対して自分たちには何が大切なのか、必要な事は何か、一緒に考えて行く。一緒に学んで行く。それが新たな夢トライ工房に求められている様に思います。新たな体制にス

から就労継続支援B型事業所へと変わりますが、名前が変わるだけではありません。福祉サービスの内容も変わります。大きく変わるのは、雇用型から非雇用型となり『給与』として支払っていたものが『工賃』となり時給額も変わります。「給与を沢山稼ぎたい」「貯金をしたい」と思っているスタッフの方々に、不安を与えていると思います。施設の変化に不満を感じる方も、中にはいると思います。私たち支援者は半年間、調査を行い話し合いも何度も行いました。スタッフの方々の不安や不満を覚悟したうえで今回の結論となりました。今回の就労継続支援B型事業所への移行は、夢トライにとって大きなチャンスであると考えています。職員もスタッフも全員で、自分たちが今まで行ってきた就業の姿を振り返り、新たな課題や目標を考え、良い機会だと私は感じています。その課題や目標に対して自分たちには何が大切なのか、必要な事は何か、一緒に考えて行く。一緒に学んで行く。それが新たな夢トライ工房に求められている様に思います。新たな体制にス

トップ記事でも話がある様に、来年から夢トライ工房は大きな変化の年となります。就労継続支援A型事業所

タツフのみならず職員も、戸惑いがあると思います。その戸惑いや新たな業務の中でも、共に悩み共に喜び目標に向かって歩んで行く事を忘れず、新たな夢トライ工房を作って行きたいと思っています。

(花村 純)



設立当時の夢トライの様子

編集後記

暑かった夏も終わり、季節は秋へと移り変わるうとしています。そんな中で、夢トライも大きく変わろうとしています。一緒に頑張っ

しょう！ (高野 雅也)